

令和3年度第1回モニターアンケート
いたばし総合ボランティアセンター
について

－ 目 次 －

		ページ
アンケート概要		1
基本情報		
問1	あなたの年齢	2
問2	あなたの職業は	2
問3	区内にお住まいの年数は	3
いたばし総合ボランティアセンターについて		
問4	いたばし総合ボランティアセンター（以下「ボランティアセンター」）を知っていますか。	4
問5	ボランティアセンターを何で知りましたか。	5
問6	ボランティアセンターを利用したことがありますか。 （電話・メール含む）	6
問7	ボランティアセンターは何を目的に利用しましたか。 （複数回答可）	6
問8	ボランティアセンターを利用した際の感想を教えてください。 （複数回答可）	7
問9	問8で「相談しにくい」「職員の対応が悪い」「もう利用したくない」の選択肢を選んだ方は、その理由を教えてください。 （自由記述）	7
問10	ボランティアセンターが毎月5日に発行している情報紙「いたばしボランティア・市民活動情報」を知っていますか。	8
問11	ボランティアセンターをもっと身近に感じてもらうには何が必要だと思いますか。 （複数回答可）	9
問12	ボランティアセンターでは、災害時には、災害ボランティアセンターが設置されます。災害ボランティアセンターを知っていますか。	10
問13	災害ボランティアセンターが設置され、区内でのボランティアが募集された際には、参加したいですか。	10
問14	災害ボランティアとしてどんな活動なら参加しますか。 （複数回答可）	11

ボランティアについて

問15	ボランティア・市民活動の経験はありますか。	12
問16	どのような分野での経験がありますか。（複数回答可）	13
問17	ボランティア・市民活動を行うきっかけは何でしたか。	14
問18	ボランティア・市民活動の経験がない方にお伺いします。どのような活動であれば参加しますか。（複数回答可）	15
問19	ボランティア・市民活動の経験がない方にお伺いします。どのようなきっかけがあれば、参加したいと思いますか。（複数回答可）	16
問20	ボランティアについて、どのようなイメージがありますか。（複数回答可）	17
問21	板橋区のボランティア活動を活性化するためには、何が1番必要だと思えますか。	18
問22	ボランティア活動はどうあるべきだと思えますか。（複数回答可）	19

※ n (number of cases) は、その設問に対する回答者の総数を示しています。質問によっては複数の回答を得たものがあります。また、質問によっては、回答がなかった、もしくは、択一選択の質問に複数の回答があったため、総数について整合がとれていない部分があります。

1 アンケート概要 いたばし総合ボランティアセンターについて

2 調査目的

板橋区では平成18年から、区民・NPO法人・社会福祉協議会・板橋区の四者協働により、いたばし総合ボランティアセンターを運営しております。運営開始以来、様々な活動者の協力により、区内のボランティア活動（※）・市民活動（※）を活性化するために、運営を展開してきましたが、新しい生活様式やSDGs等を踏まえ、今後のいたばし総合ボランティアセンターがどうあるべきか、現在検討を進めているところです。

今回の調査では、いたばし総合ボランティアセンターやボランティアについてご意見を伺い、いたばし総合ボランティアセンターの運営を通じ、板橋区のボランティア・市民活動を活性化させるための参考資料とすることを目的としています。

※ボランティア活動：自分の意志で他者や社会のために見返りを求めずに行う、より良い社会を作るための活動のこと

※市民活動：市民が主体となって、より良い社会を作るために地域社会の様々な課題の解決に取り組む、営利を目的としない組織的・継続的活動のこと

3 調査対象

- (1) いたばし・タウンモニター 48名
- (2) いたばし・eモニター 171名

4 調査方法

- (1) いたばし・タウンモニター 郵送及びインターネット回答
- (2) いたばし・eモニター インターネット回答

5 調査期間

- (1) いたばし・タウンモニター
令和3年7月14日（水）から令和3年7月28日（水）まで
- (2) いたばし・eモニター
令和3年7月14日（水）から令和3年7月28日（水）23時59分まで

6 アンケート作成部署 地域振興課

7 回答結果（回答率）

	回答数（人）	回答率（％）
タウンモニター	30人	62.5%
eモニター	79人	46.2%
計	109人	49.8%

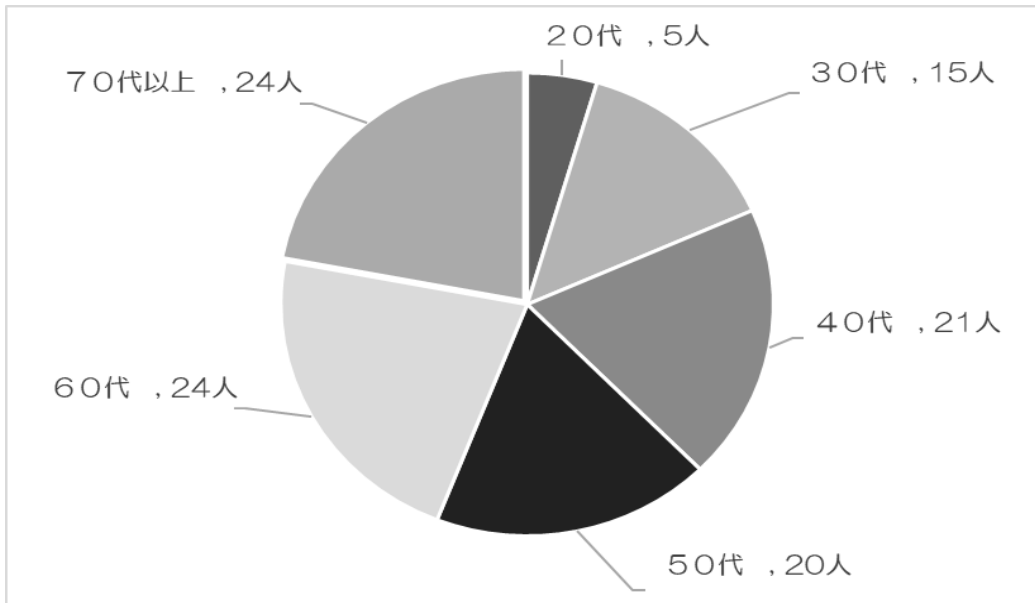
8 その他

紙面の関係上、同様の内容のものについては要約・省略をしているものもあります。また、ご意見・ご要望等で、アンケートに関連のない内容等については、割愛させていただきました。

回答の比率（％）は、小数点第二位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100%にならない場合があります。

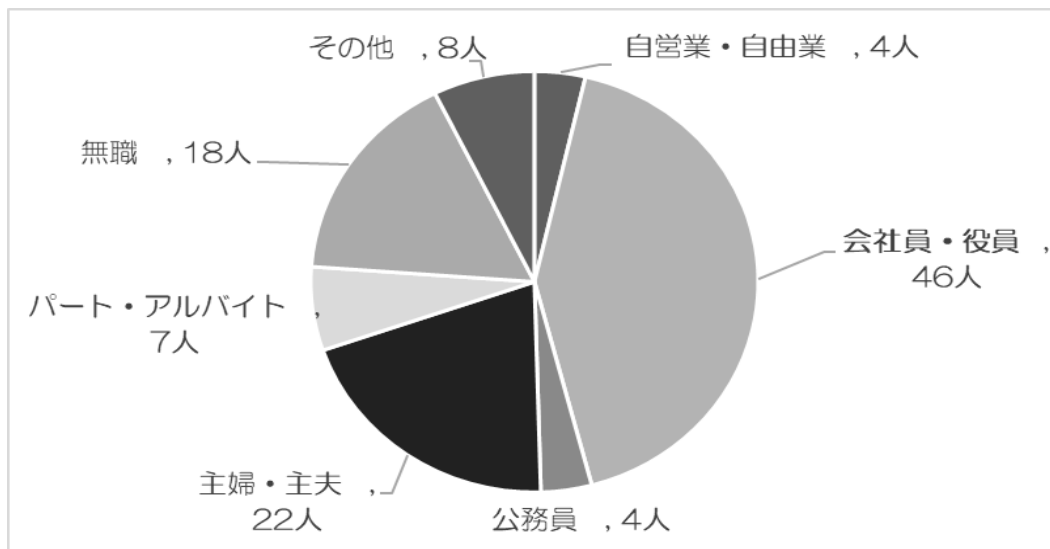
基本情報

問1 あなたの年齢は



n=109

問2 あなたの職業は

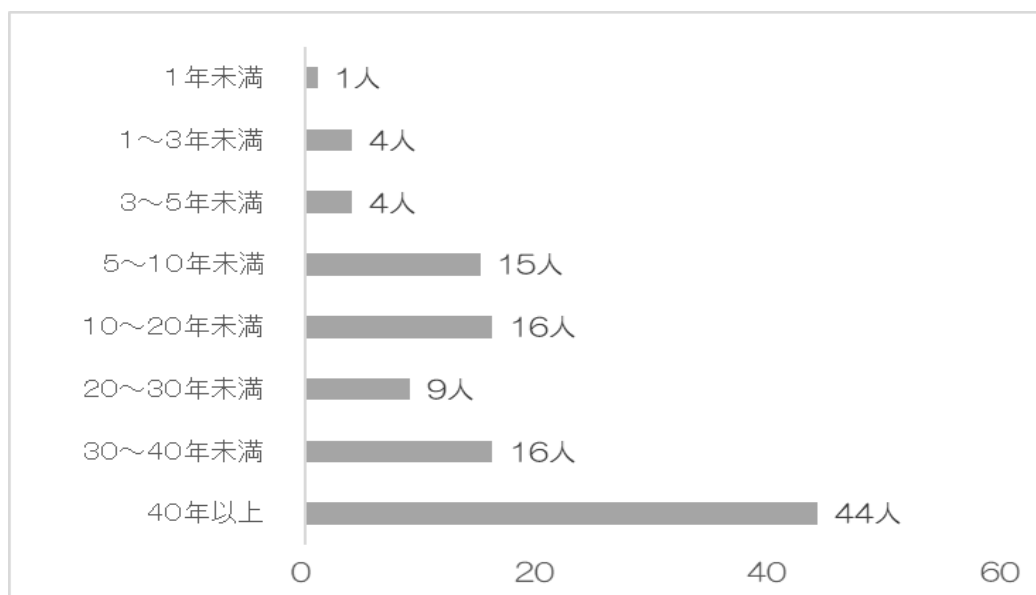


n=109

<その他の回答>

- ・医師
- ・不動産
- ・茶道講師
- ・非常勤講師
- ・登録手話通訳者
- ・年金生活者
- ・公益法人役員（非常勤）
- ・NGOボランティア

問3 区内にお住まいの年数は

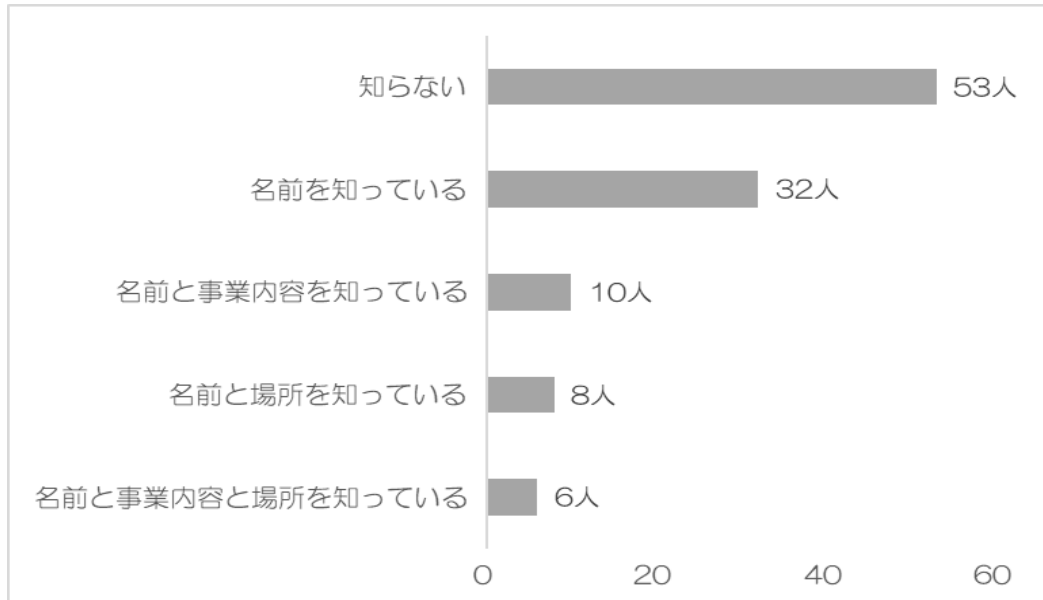


n=109

「40年以上」と回答した人が44人（40.4%）で最も多かった。次いで、「30~40年未満」、「10~20年未満」と回答した人が16人（14.7%）だった。

いたばし総合ボランティアセンターについて

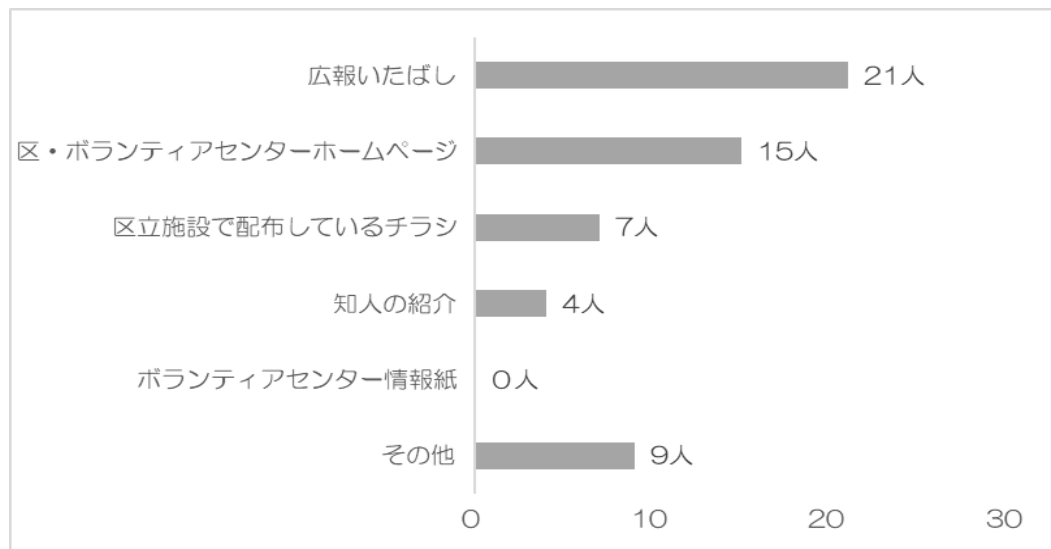
問4 いたばし総合ボランティアセンター（以下「ボランティアセンター」）を知っていますか。
（知らないを選んだ方は、問10へ）



n=109

「知らない」と回答した人が53人（48.6%）で最も多かった。次いで、「名前を知っている」と回答した人が32人（29.4%）だった。

問5 ボランティアセンターを何で知りましたか。



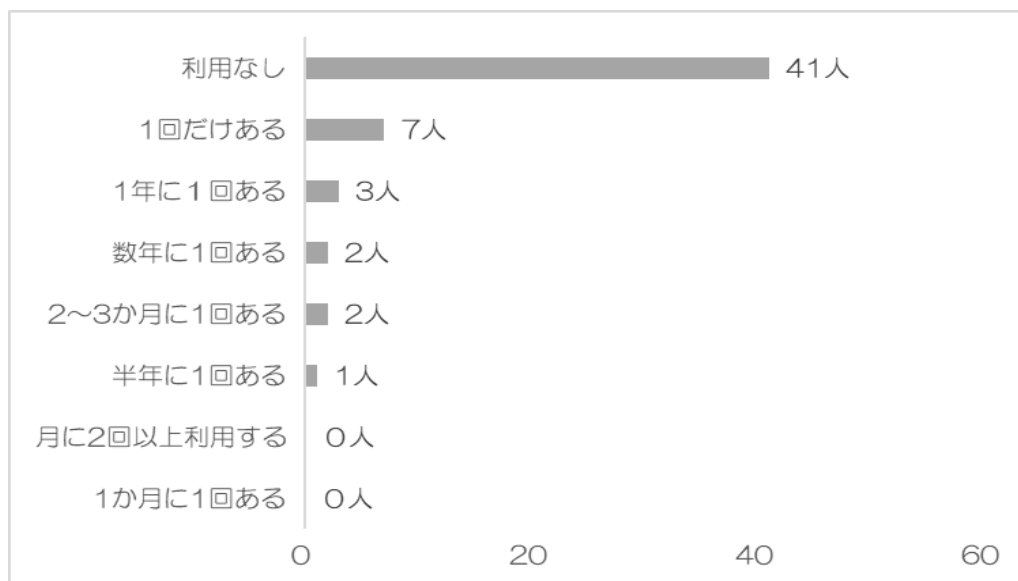
n=56

<その他の回答>

- 学校からの配布物
- まちの掲示板
- 夏休みボランティアの冊子
- 板橋区の危機管理部
- ボランティアセンターの前を通りかかった

「広報いたばし」と回答した人が21人（37.5%）で最も多かった。次いで、「区・ボランティアセンターホームページ」と回答した人が15人（26.8%）だった。

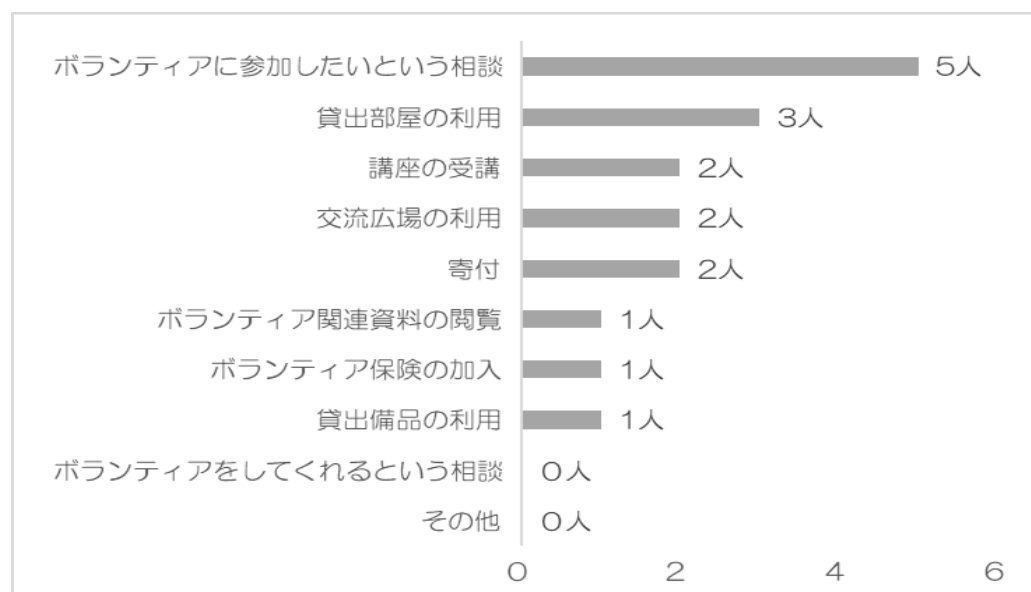
問6 ボランティアセンターを利用したことがありますか。
 (電話・メール含む) 「利用なし」を選んだ方は問10へ



n=56

「利用なし」と回答した人が41人(73.2%)で最も多かった。次いで、「1回だけある」と回答した人が7人(12.5%)だった。

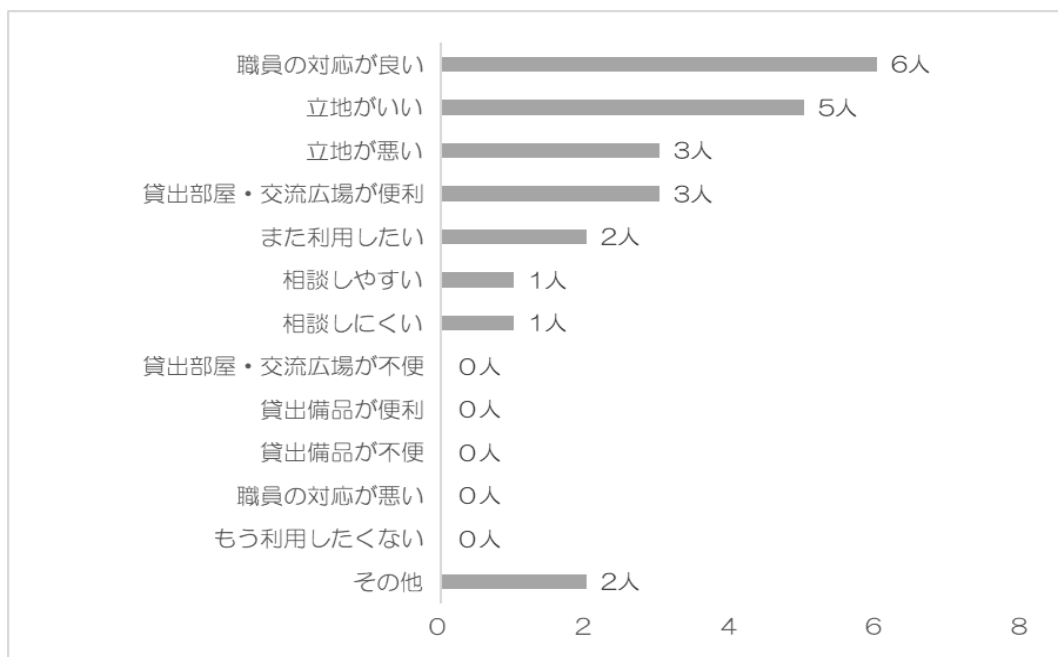
問7 ボランティアセンターは何を目的に利用しましたか。
 (複数回答可)



n=15

「ボランティアに参加したいという相談」と回答した人が5人(33.3%)で最も多かった。次いで、「貸出部屋の利用」と回答した人が3人(20.0%)だった。

問8 ボランティアセンターを利用した際の感想を教えてください。
(複数回答可)



n = 15

<その他の回答>

- ・ホームページでの申し込み操作が難しかった

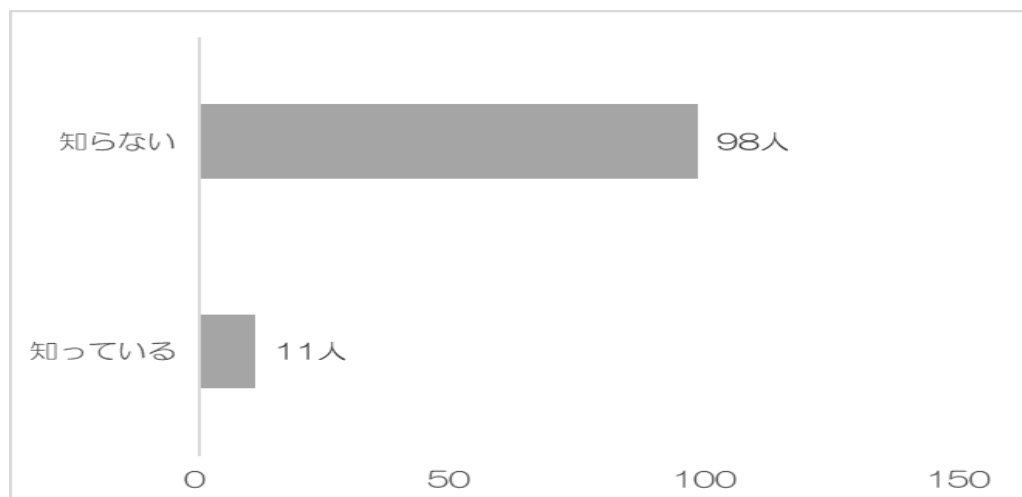
「職員の対応が良い」と回答した人が6人（40.0%）で最も多かった。次いで、「立地がいい」と回答した人が5人（33.3%）だった。

問9 問8で「相談しにくい」「職員の対応が悪い」「もう利用したくない」の選択肢を選んだ方は、その理由を教えてください。
(自由記述)

- ・中学生の子どもが夏休みの宿題で利用した。本人のみで説明会に行かせたが、あまり説明はなかったという話だった

n = 1

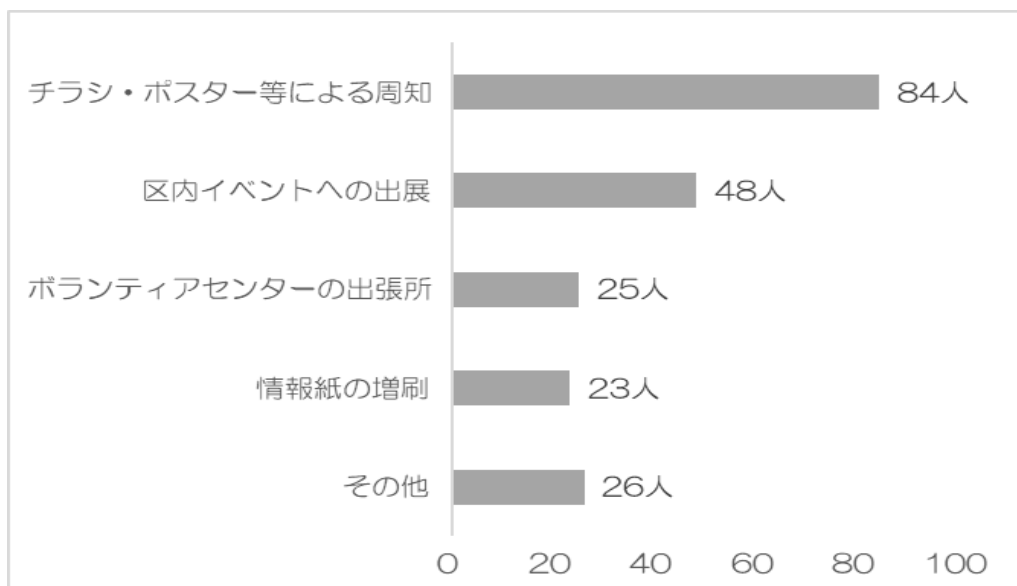
問10 ボランティアセンターが毎月5日に発行している情報紙「いたばしボランティア・市民活動情報」を知っていますか。



n=109

「知らない」と回答した人が98人（90.0%）であった。

問11 ボランティアセンターをもっと身近に感じてもらうには何が必要だと思いますか。（複数回答可）



n=109

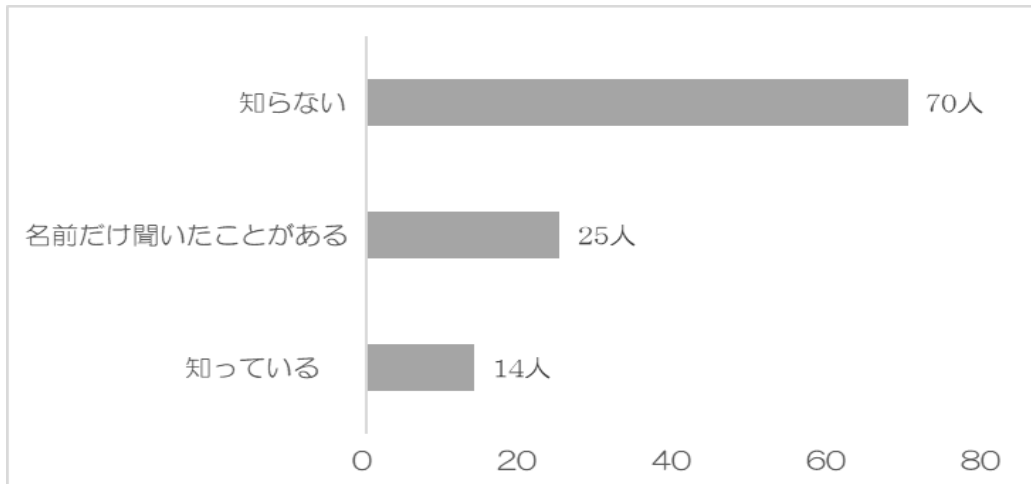
<その他の回答>

- 広報いたばしやITA-Portの活用
- インスタやLINEで登録者を募る
- 板橋区の公式Twitterでの周知を増やす
- YouTubeチャンネルを開設して動画で周知する
- 板橋区ホームページ中のバナーに追加して、目に触れるようにする
- 情報紙を保育園や幼稚園でも積極的に配布する。もしくは、保育園や幼稚園で配布される情報紙に掲載する
- 区内小中学校へのチラシ・ポスターの配布、区内小中学校と連携した事業の実施
- 区役所1階ホールでの企画展実施
- メルマガ配信
- 町会回覧板で紹介する
- 駅、区内の病院、スーパーマーケット、区内商業施設など、利用者の多い場所での宣伝

「チラシ・ポスター等による周知」と回答した人が84人（77.1%）で最も多かった。次いで、「区内イベントへの出展」と回答した人が48人（44.0%）だった。

問12 ボランティアセンターでは、災害時には、災害ボランティアセンター（※）が設置されます。災害ボランティアセンターを知っていますか。

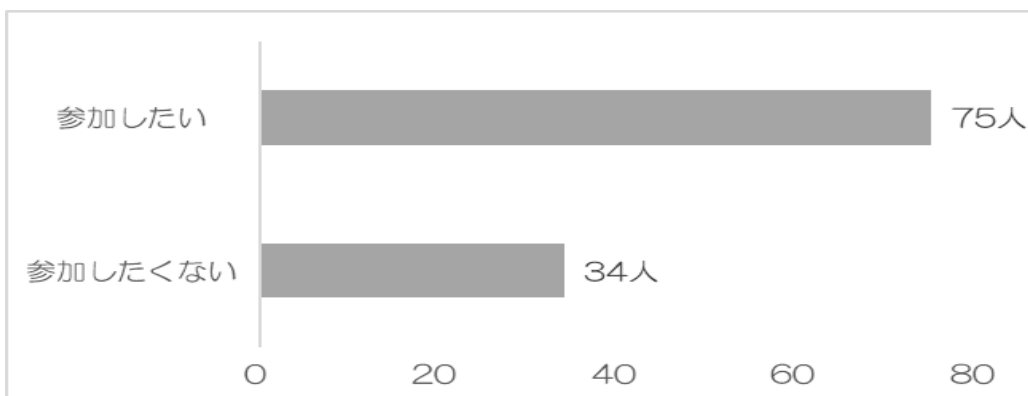
※災害ボランティアセンター：板橋区内で大規模な災害が発生した際に、ボランティアの受付・登録・派遣等の調整や、関係機関との連絡調整などの支援業務を行う組織



n=109

「知らない」と回答した人が70人（64.2%）で最も多かった。次いで、「名前だけ聞いたことがある」と回答した人が25人（22.9%）だった。

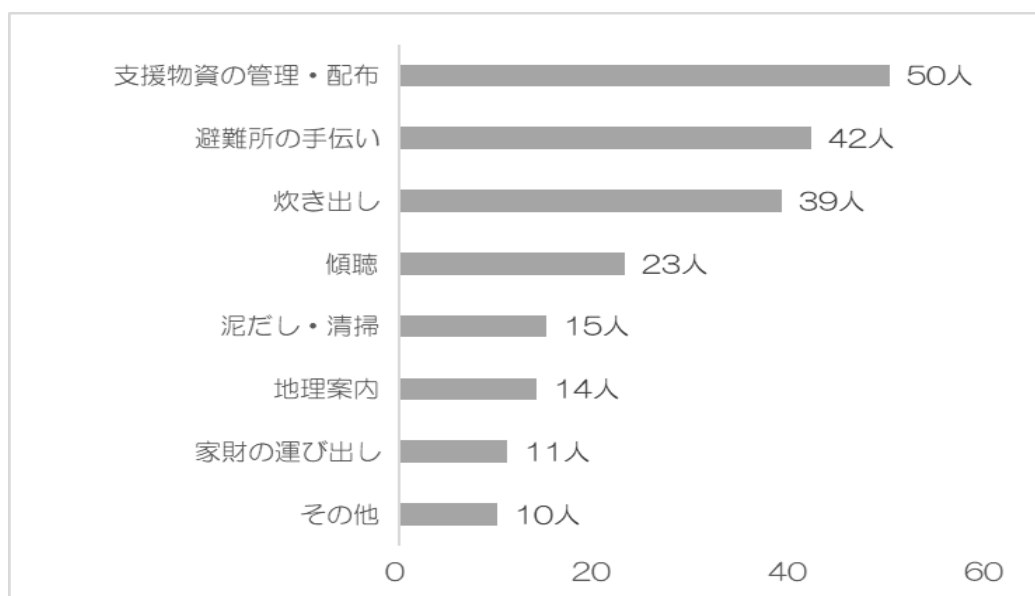
問13 災害ボランティアセンターが設置され、区内でのボランティアが募集された際には、参加したいですか。（「参加したくない」を選んだ方は、問15へ）



n=109

「参加したい」と回答した人が75人（68.8%）だった。

問14 災害ボランティアとしてどんな活動なら参加しますか。
(複数回答可)



n = 74
未回答 1

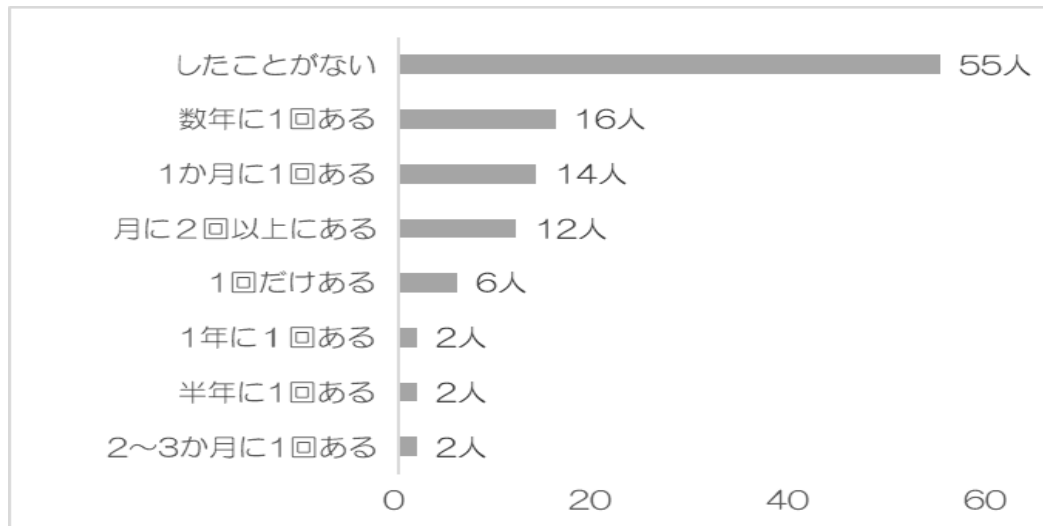
<その他の回答>

- ・子どもの面倒をみる
- ・乳児、幼児連れの保護者への支援

「支援物資の管理・配布」と回答した人が50人（67.6%）で最も多かった。次いで、「避難所の手伝い」と回答した人が42人（56.8%）だった。

ボランティアについて

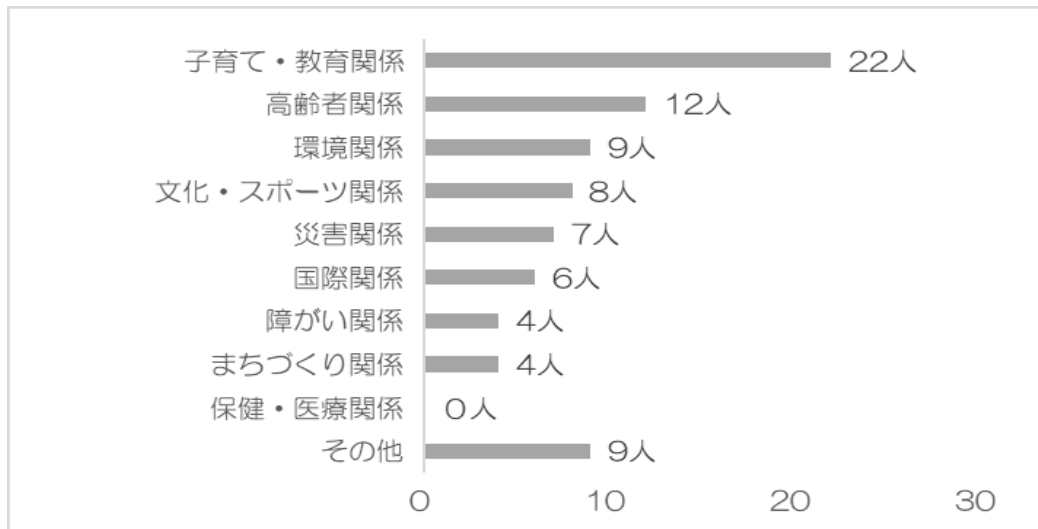
問15 ボランティア・市民活動の経験はありますか。（「したことがない」を選んだ方は、問18へ）



n=109

「したことがない」と回答した人が55人（50.5%）で最も多かった。次いで、「数年に1回」と回答した人が16人（14.7%）だった。

問16 どのような分野での経験がありますか。（複数回答可）



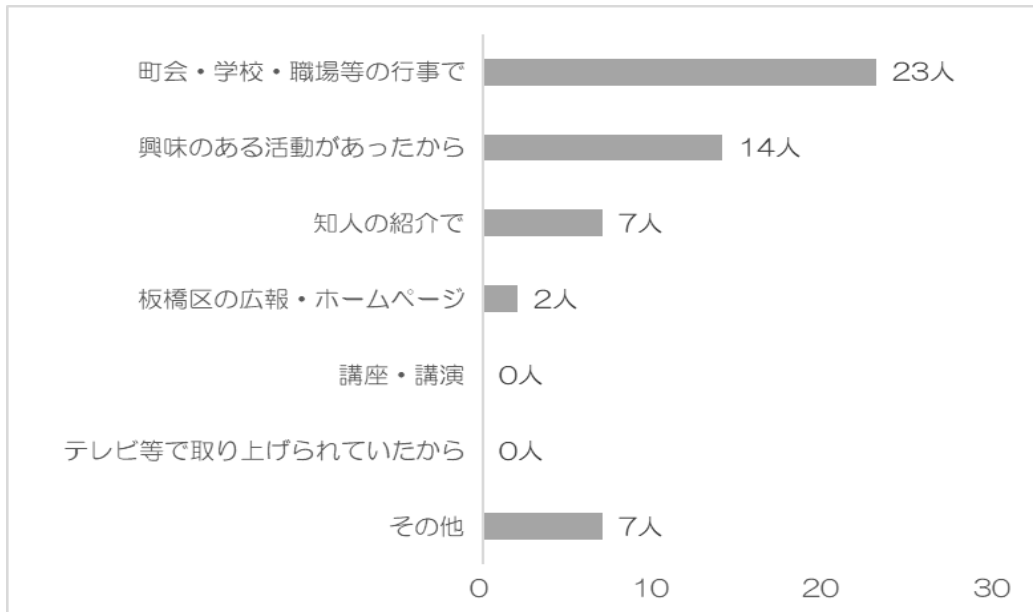
n=54

<その他の回答>

- ・観光ボランティア
- ・アートイベントや、高齢者のデイサービスの絵画教室のボランティア
- ・マスク作り、洋服直し、イベントの撮影、撮影で知り合った方のボランティア

「子育て・教育関係」と回答した人が22人（40.7%）で最も多かった。次いで、「高齢者関係」と回答した人が12人（22.2%）だった。

問17 ボランティア・市民活動を行うきっかけは何でしたか。



n = 53

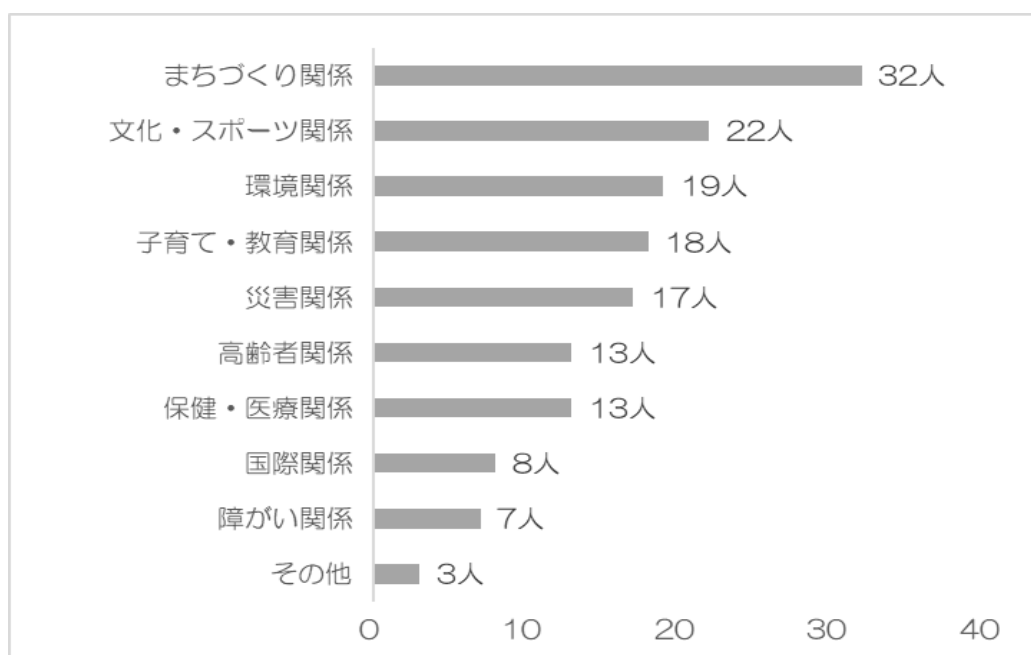
未回答 1

<その他の回答>

- ・チラシ、配布物・
- ・習い事・

「町会・学校・職場等の行事で」と回答した人が23人（43.4%）で最も多かった。次いで、「興味のある活動があったから」と回答した人が14人（26.4%）だった。

問18 ボランティア・市民活動の経験がない方にお伺いします。
どのような活動であれば参加しますか。（複数回答可）



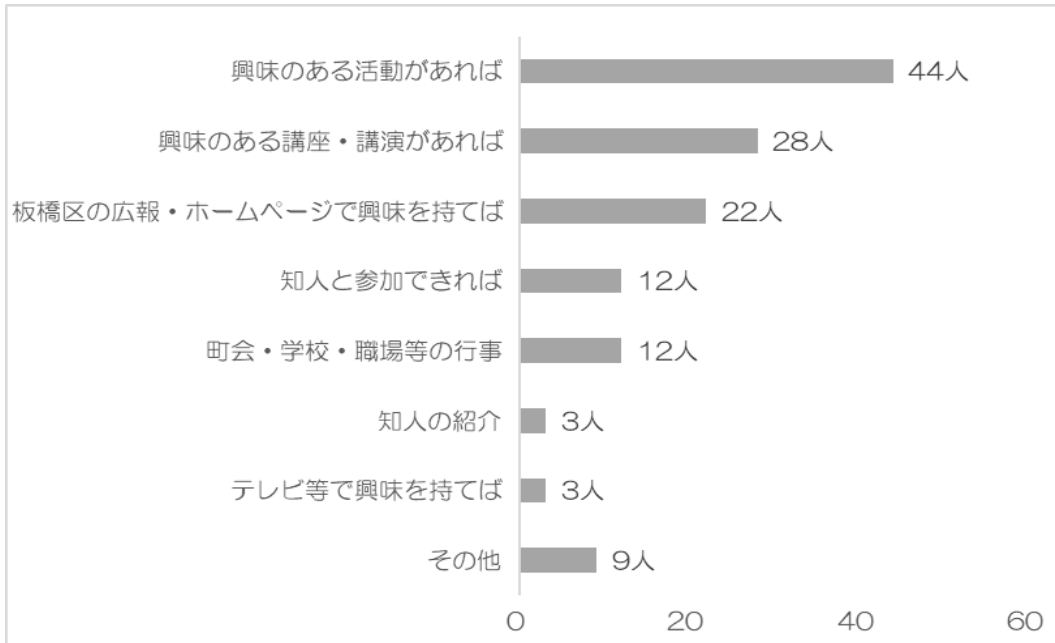
n=55

<その他の回答>

- ・子連れで参加できるもの

「まちづくり関係」と回答した人が32人（58.2%）で最も多かった。次いで、「文化・スポーツ関係」と回答した人が22人（40.0%）だった。

問19 ボランティア・市民活動の経験がない方にお伺いします。
 どのようなきっかけがあれば、参加したいと思いますか。
 (複数回答可)



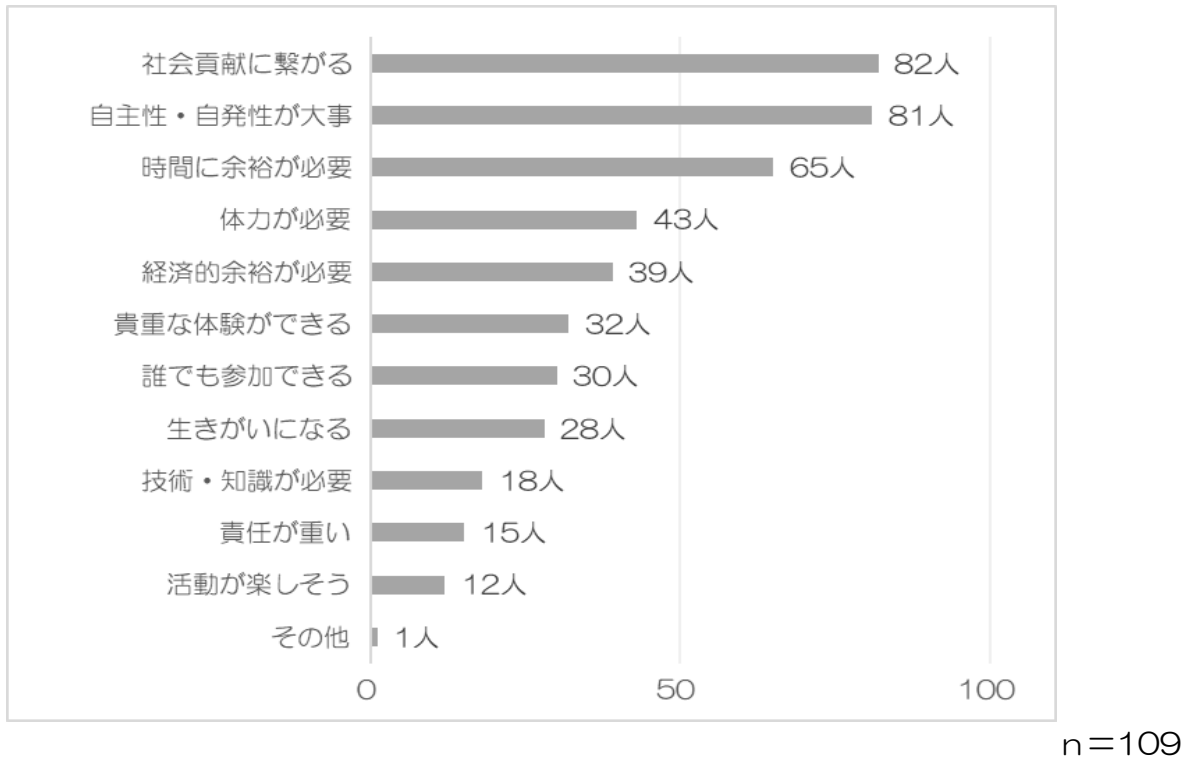
n=55

<その他の回答>

- ・子連れで参加できると分かれば参加したい
- ・平日は仕事があるので、仕事の合間にできるようなものがあれば参加しやすい

「興味のある活動があれば」と回答した人が44人（80.0%）で最も多かった。次いで、「興味のある講座・講演があれば」と回答した人が28人（50.9%）だった。

問20 ボランティアについて、どのようなイメージがありますか。
(複数回答可)

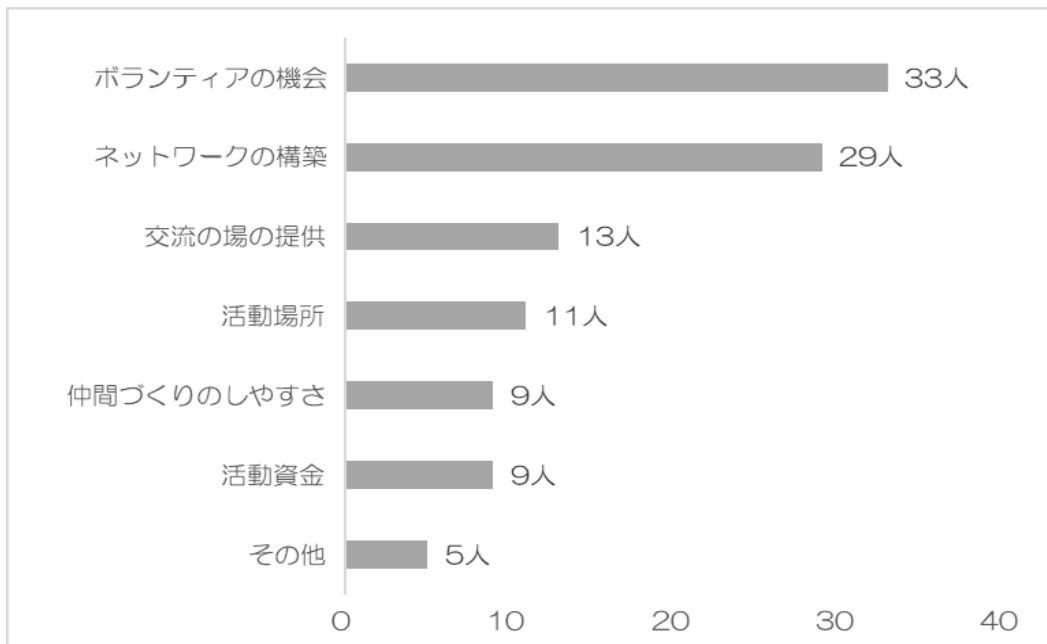


<その他の回答>

- 慣れていないとむしろ足手纏いとなりそうで、特に災害ボランティアは躊躇してしまう部分がある

「社会貢献に繋がる」と回答した人が82人（75.2%）で最も多かった。次いで、「自主性・自発性が大事」と回答した人が81人（74.3%）だった。

問21 板橋区のボランティア活動を活性化するためには、何が1番必要だと思いますか。



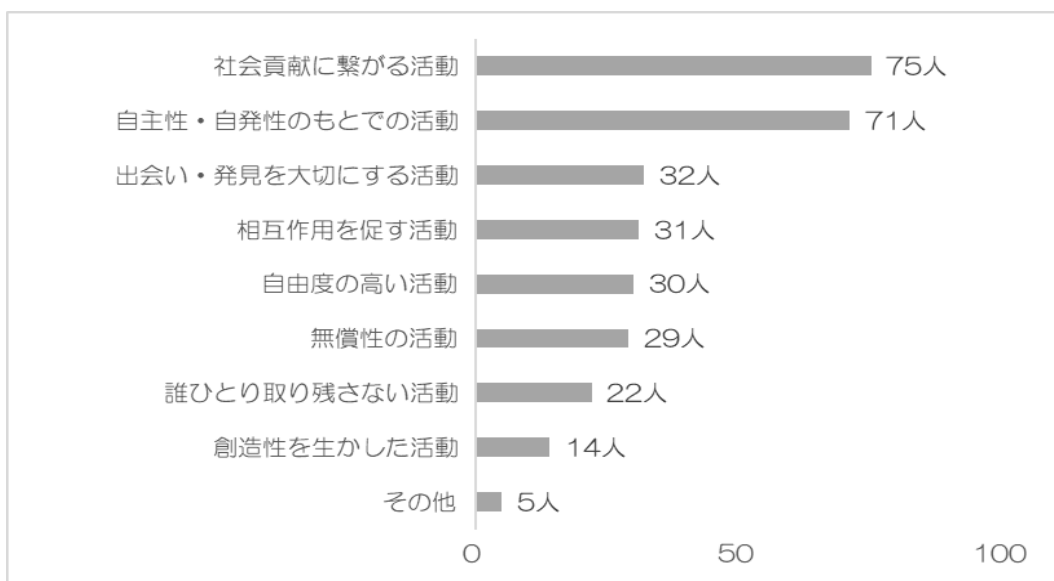
n=109

<その他の回答>

- 時間がなくてもできれば親子で気軽に参加できるワークショップや交流の場
- ボランティアを始めるきっかけ
- 「ボランティアとはなにか」という基礎的なことを教えてくれる超初心者向け講座をYouTubeやSNSで周知する
- ボランティア内容の周知
- 初めての人でも参加しやすい人間関係
- 社会人、学生が参加しやすい時間帯を活動時間帯にすること

「ボランティアの機会」と回答した人が33人（30.3%）で最も多かった。次いで、「ネットワークの構築」と回答した人が29人（26.6%）だった。

問22 ボランティア活動はどうあるべきだと思いますか。 (複数回答可)



n=109

<その他の回答>

- まとまった時間がなくても、リモートなどで参加できる形があるといい
- 自主的に始めるのはなかなか難しいので、子どもや若い世代を対象としたイベントなどから参加を促していけたらいい

「社会貢献に繋がる活動」と回答した人が75人（68.8%）で最も多かった。次いで、「自主性・自発性のもとでの活動」と回答した人が71人（65.1%）だった。